

STAR STORKS

～ 星のゆりかご ～



3体のメカが銀河を渡る。
たった一人になった人類を、他の人類に逢わせる為に。

《 テーマ 》

メカが主役。人間は要らない?!

メカが持つ魅力…重量感・ギミック・フォルムのカッコ良さ…だけ。
快楽の構図・燃えるシーケンス。
メカがキャラなら、人間は登場しなくてもいいんじゃない？
美青年や萌え少女の活躍するアニメなら、他にいくらでもあるし。

《 ジャンル 》

昂る!メカアニメ

発進シーンに心が躍る！
ディム！と光る眼に、身震いする！
パズルの様なギミックに、閃く！
壊れる過程すら、絵になる！
人口知能に心が芽生える様に、涙する…

《 設定 》

人類が滅んで1万年後…地球は、人類の残した機械生命体たちによって護られていた。地球の資源やテクノロジーを狙って、エイリアンたちが常に飛来していたのだ。

機械生命体たちは、創造主たる地球人の再生を、ずっと試みていたが、1万年かかって、やっと1人の子供を産み出す事に成功する。しかし残念ながら、その人数を増やすことは叶わなかった。

生命には寿命が有る。産まれた子供の時間を止めることは出来ない。機械生命体たちは不憫に思い、子供を「他の人類」に逢わせる為に、旅立たせる事を決める。「他の人類」が存在する当時は、全く無かったけれど。

子供の介添え役として、3体のメカが選出される。
徹甲槍の使い手、天かける機械騎士ダイキュリー。
重力子太鼓の名手、歩く重戦車、ギムレット。
最高の知能と思考を併せ持つ、超光速ロケット、モスコミュール。

子供が3歳の誕生日を迎えた日。
ダイキュリー、ギムレット、モスコミュールは、別の銀河を目指して、エイリアンの包囲網を突破して征く。
子供の声は中性的で、バイザーで覆われた表情を窺い知ることは出来ない…

(ダイキュリーのイメージ)



(ギムレットのイメージ)



(モスコミュールのイメージ)



《 あらすじ 》

序

地球防衛軍(機械生命体)VSエイリアン侵略軍。
エイリアンは蜘蛛から進化した生命で、他の知性と全く解り合えない。
地球防衛軍は、様々なロボットの陣を構え、鮮やかに侵略軍を打ち崩していく。
その最中、ダイキュリーとギムレットが連結されたモスコミュールは、たった一人の人類を乗せて、轟音と爆煙、更には虹を伴って発進する。
振り返れば地球には、「GOOD LUCK」の巨大な文字が浮かび上がっていた。

破

地球人類に似たホモサピエンスとは、なかなか巡り逢えない…希望と絶望を幾重にも積み上げながら、旅は続く。
そしてダイキュリー・ギムレット・モスコミュールの人工知能には、いつしか子供に対する愛情が発生していく。
地球出発から、実に10年が経過、子供は思春期を迎えようとしていた。
モスコミュールは「ブラックホールを潜り抜け、別の宇宙に渡る…」というプランを提唱する。
ブラックホールの門番の様な宇宙怪獣たちを退けるため、様々な装備を換装するダイキュリーとギムレット。
ホワイトホールに転じて別の宇宙に飛び出したとき、その彼方には…地球そっくりの星が浮かんでいた。

急

「別の宇宙の地球」から繰り出される迎撃宇宙艦隊…この星にはホモサピエンスが文明を築いていた。
ところが彼らは、機械生命体を執拗に警戒していた…彼らの文明は「ロボットの反乱」を経験していたのだ。
「我々は、他の宇宙の子供を1人捕えている。」…悪役を決め込む、ダイキュリー、ギムレット、モスコミュール。
「別の宇宙の地球」成層圏での会戦…3体はボロボロに破壊されながら、遂に子供の乗ったカプセルを大気圏突入させる。
浜辺…不時着したカプセルを取り巻く、大勢の人。
1人の少女が、カプセルの中の少年に、手を差し伸べる。
子供は、涙で曇ったバイザーを開けた…